

緊急地震速報の周知・広報及び利活用の推進状況

緊急地震速報とは

地震が発生したときに、震源近くで地震をキャッチし、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に強い揺れがくることを素早く知らせるもの（ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがある）

関係省庁連絡会議を今年3月に設置して、現在までに3回開催し、情報交換や施策の調整を行うとともに、各省庁の取り組みをとりまとめた。

周知・広報及び利活用の関係省庁の取り組み事例

< 省庁内での周知・利活用 >

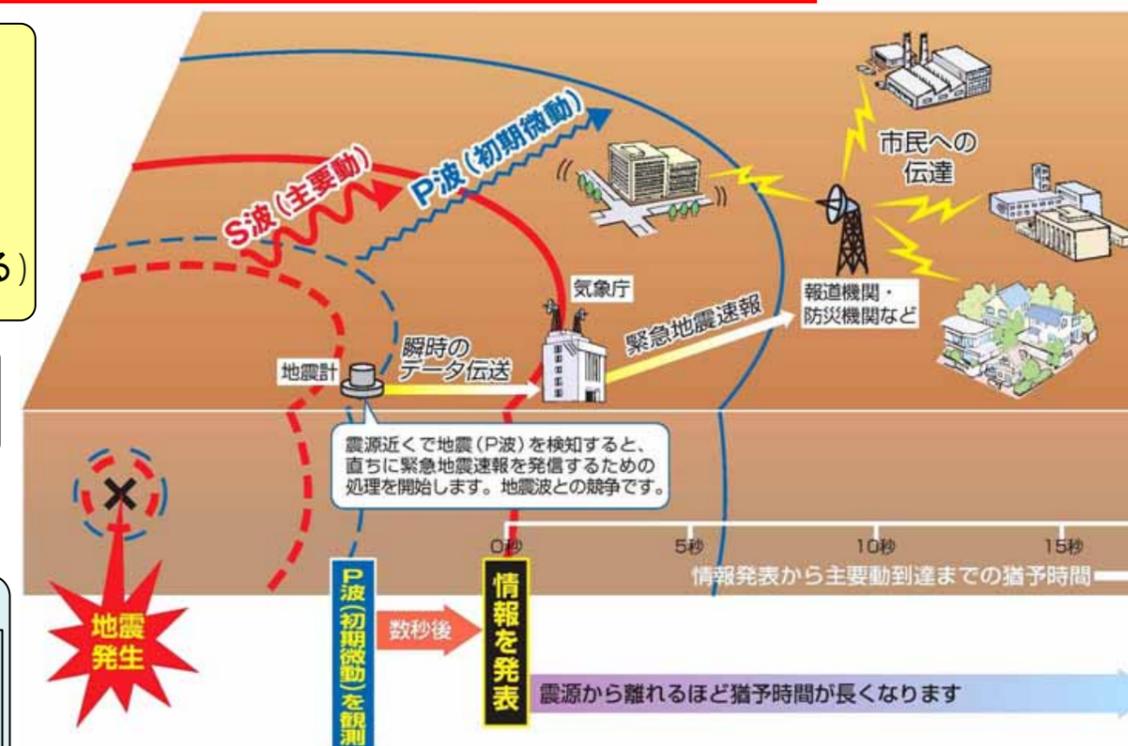
- ・「緊急地震速報に係わる省内連絡会議」を設置し、会合を開催
- ・内閣府ホームページに掲載されている「緊急地震速報の周知・広報及び利活用推進関係省庁連絡会議資料」を使用し、電子メール等で周知
- ・LAN掲示板により、本省及び全国の職員に緊急地震速報について紹介
- ・執務室の一部に緊急地震速報受信端末を設置
- ・複数の提供事業者と面談し、提供可能なサービスについての説明を受け、予算化の検討を開始

< 所管団体等への周知・広報・利活用 >

- ・省内の関係者・所管団体に対し、気象庁担当者による説明会を実施
- ・所管団体・法人等に対して、緊急地震速報の周知・広報、利活用推進に関する協力依頼を发出、気象庁作成の資料を配付
- ・地方支分部局・県警察の一部で緊急地震速報受信システムを導入し、これらの活用事例を参考に、今後の導入を検討中
- ・都道府県を通じて、全国瞬時警報システム(J-ALERT)によって緊急地震速報を提供する市町村に対し、緊急地震速報の特性及び提供された場合の心得等について、住民への十分な周知を行うよう助言

< 一般向け周知・広報 >

- ・政府広報を活用し、緊急地震速報及び「利用の心得」等を周知。政府広報インターネットテレビ、政府広報テレビ番組、広報誌などを活用した多面的な広報
- ・学識者等による緊急地震速報に関する一般を対象にしたフォーラムを開催
- ・インターネットで、一般の方々に対して認知度アンケート調査を実施



< 講演、投稿、リーフレット作成など >

- ・気象庁作成の「緊急地震速報～この秋スタート～」リーフレットを省内、関係団体総会や各種会合において配布、窓口へ設置
- ・広報用の英文資料(リーフレット)を作成し、在京外交団に配付するとともに、電子データを各都道府県等に送付
- ・緊急地震速報の内容等をわかりやすく示したDVD、ポスターを作成し、関係機関との協力で、配布、掲示する予定
- ・気象庁が作成する子ども用リーフレットの打合せを実施

< 本格運用に向けての準備 >

- ・混乱なく利用可能な分野の利用者に対して緊急地震速報の先行提供を平成18年8月から実施
- ・気象庁庁舎において、緊急地震速報の一般向け提供の準備として、課題の抽出などを目指した「モデル実験」を開始し、訓練を実施中

< 技術活用・調査研究 >

- ・緊急地震速報の技術を活用して、津波警報・注意報を発表するまでの時間を短縮
- ・電子基準点データのリアルタイム解析と緊急地震速報を組み合わせ、震源断層を推定する手法について研究を開始予定